

# 農繁期

## レポート

令和4年 9月号

# 栄ファーム

オーナー 栄運輸工業株式会社

水田面積 18.4アール

保証量 玄米 828kg

形態品種 特別栽培コシヒカリ



## 生産者 三上 惇二

稲刈り前に雨が続き田んぼの状態が悪くなり作業が大変になるかと覚悟をしていましたが中干がしっかりできていたのもあり、稲刈りは順調に進みました。2度の台風で倒れた稲もありましたが、味も例年並みの美味しさになったと思います。お届けまでもう少々お待ちください。

### 9月の作業内容

#### 1. 稲刈り

刈取適期は出穂後の積算温度だけでなく穂の色など状態をみて判断します。適期は非常に短く、その期間に雨が降るとコンバインが田んぼに入れず適期を逃すこともあります。そのため翌日が雨予報だと日没後もライトを照らして作業する農家さんもいます。

#### 2. 脱穀後の籾

昔の手刈りとは違い現代はコンバインで刈り取り～脱穀を行います。コンバインの容量がいっぱいになったら横づけした軽トラックに「籾」を一気に流し込み、すぐに乾燥機へ投入します。ここまですぐに乾燥機へ投入します。ここまですぐの一連の作業なので刈取後に放置は基本しないです。

#### 3. 乾燥

収穫直後のお米は水分量が多いので乾燥機に入れ調整します。この工程で品質は良くも悪くもなり、稲刈りよりも気を使う作業です。急激に乾燥させると粒が割れてしまったりするのですが、現在の乾燥機は改良もされているためある程度機械任せで良い状態に仕上がります。

#### 4. 等級検査

乾燥後にもみすり機に入れ、もみ殻を取り除き製品となる「玄米」に仕上げます。不良米や小石は色選機で除き、30kg袋に詰め込みしてから検査を受けます。また、もみ殻も堆肥作りにとっても大切な物として重要な副産物ですので捨てることはしません。

